

産業経営経済学特論演習（一）（4単位）

担当者氏名 菊地 哲夫 美土路 知之

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

構造変化の進展の下での地域産業経営の諸課題の解明と展望をテーマとして、地域産業の生産過程にとどまらず、加工・流通に到る全過程を情報技術の活用も視野に入れて究明しうる基礎的力量を養うことを到達目標とし、グローバル経済下の産業経営と生物産業の発展方向とする。現代の経営経済システムの構造変化、とりわけグローバル経済の進展の下で、従来の経営学の一般的原理を踏まえ、地域産業が直面している諸問題を解明する。とくに生産過程のみならず、流通過程も包含した川上～川下の全過程とそこでの情報技術の活用も視野に入れて、今後の展開方向と展望を明示しうる基礎的力量を養うべく、既存の文献の整理、解説などの演習を行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

グローバル経 地域産業経済 生物産業 地域ブランド
IT技術 ネットワーク

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス（第1週） （担当 菊地哲夫）	演習ガイダンス	事前に配布した資料を熟読すること。
2	地域産業の経営状況 （第2～8週） （担当 菊地哲夫）	地域産業現状と今後の展開について学修する	
3	地域産業の諸課題 （第9～15週） （担当 菊地哲夫）	地域産業構造の発展論理と課題について学修する	
4	地域産業とIT技術の活用 （第16～29週） （担当 美土路知之）	地域産業経営におけるIT技術の活用について学ぶ	
5	総括（第30週） （担当 美土路知之）	まとめ	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

講義への参加状況とレポートの内容により評価する

◆オフィスアワー

月曜日3限目(前期)

◆その他受講上の注意事項

受講生の進捗の状況に応じて演習内容を変更する場合がある